

生涯教育研修会報告書
学発番号 第 12-070 号

平成 25 年 3 月 10 日 報告

報告者 : 米澤 英伸

所属 : 京都民医連中央病院

連絡先 : 075-822-2777

主題 : ABI/PWV 検査 勉強会

講師 : 1) 塚原 千枝 (フクダ電子株式会社血管予防営業部)

講師 : 2) 阿藤 大 (オムロンコーリン株式会社営業戦略部学術グループ)

日時 : 平成 25 年 3 月 7 日 (木) 18:30~20:30

場所 : 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

分類 : 生体検査 20 点

全体参加人数 : 45 人

京臨技会員参加人数 : 43 人

以下、講演内容など

前半では新しい動脈硬化指標 CAVI についての講義があり、下肢閉塞性動脈硬化症の診断・治療指針や、ABI/PWV の原理、CAVI との比較などが取り上げられていた。検査結果レポートの見方であったり、波形のどの部分を見て判断するかなど実際の臨床の場で必要な知識を得ることができる内容であった。また後半ではさらに ABI/PWV を詳しく、症例を交えながらの講義で進められた。ABI 値が境界域または正常値であっても、下肢動脈が狭窄及び閉塞している場合があり、原因としては血管が 75%以上狭窄しないと血圧は急激には低下しないということや、糖尿病や透析患者などの動脈の石灰化がある場合は血管を締め付けるのに余計に力が必要となり測定値が高く表現されてしまうということであった。つまり、ABI とともに、PWV の波形を評価することが重要であるということだった。その他にも %MAP や脈波形の大まかな変化も紹介され、受講生にとって大変内容のある勉強会であった。今回は大勢の方にお越しいただき ABI/PWV 検査の学習会のニーズが伺えられた。

(報告者 米澤 英伸)